

落 札 者 決 定 基 準

令和 5 7 年 1 2 月

三重県

1. 基本的な考え方

落札者の決定に当たっては、本県にとって最適な事業者を選定するため、提案内容の評価に入札価格の評価を加算する「総合評価方式」を採用し、合計点の最も高い入札者を落札候補者としたうえで、資料1「調達説明書」4(2)の落札資格の確認を行った後に落札決定を行うこととします。

(1) 提案内容の評価

提案内容を公平かつ客観的に評価するため提案内容の評価し、「技術評価点」を与えます（資料4別紙1「提案書評価基準表」参照。）。

(2) 入札価格の評価

入札価格については、後に示す計算式に基づき、入札価格に対する「価格評価点」を与えます。

(3) 技術評価点と価格評価点の比率

技術評価点と価格評価点の比率については、3対1とします。

(4) 合計点の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

以下の順で落札候補者を決定します。

ア 入札者それぞれの「技術評価点」及び「価格評価点」が異なる場合
「技術評価点」が高い者を落札候補者とします。

イ 入札者それぞれの「技術評価点」及び「価格評価点」が同じ場合
当該入札者間で三重県物件等電子調達システムを利用したくじ引きを実施し、落札候補者を決定します。

2. 提案内容の評価

提案内容の評価は、以下の手順で行います。

(1) 大分類の設定

- ア 基本方針 : 基本的な考え方、業務の理解度
- イ 業務要件 : 業務要件に対する考え方
- ウ 実施体制 : 入札者の実績、資格、得意分野に係る部分
- エ 進行管理 : 入札者の進行管理能力に係る部分

(2) 大分類配点

「技術評価点」の満点を60点として、次のように点数を配点します。

- ア 基本方針 : 5点(1項目)
- イ 業務要件 : 35点(7項目)
- ウ 実施体制 : 15点(3項目)
- エ 進行管理 : 5点(1項目)

(3) 項目評価点の考え方

評価項目単位の採点は0～5までの以下の6段階で採点します。

- ア 基準点より非常に優れた提案内容であれば「5点」とします。
- イ 基準点よりやや優れた提案内容であれば「4点」とします。
- ウ 基準点：標準的な提案内容であれば「3点」とします。
- エ 基準点よりやや劣る提案内容であれば「2点」とします。
- オ 基準点より非常に劣る提案内容であれば「1点」とします。
- カ 記述のない評価項目であれば「0点」とします。

※ 技術提案書聴取会の内容を踏まえ採点します。

※ 「項目評価点」について、各委員が評価した点数を合計し、委員数で割った平均点とします。

※ 有効数字は、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入します。

3. 入札価格の評価

「価格評価点」の満点を20点とし、以下の計算式で算出します。

「価格評価点」＝ $20 \times (1 - X/K)$

X：入札価格(円)

※令和8年度から11年度までの年度別価格の総合計が入札価格となります。

K：XXXXXX円(評価基準額。入札に当たっての評価のための数値で、予定価格ではありません。)

※ 入札価格及び評価基準額については全て消費税及び地方消費税を含まない金額で計算を行います。

※ 有効数字は、小数点以下7桁までを有効とし、小数点以下8桁目以降は切り捨てとします。

※ 入札価格の100分の10に相当する額を加算した金額(該当金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって契約金額とする

ので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、契約金額の 110 分の 100 に相当する金額を記載するものとします。

4. 落札候補者の決定方法

落札候補者の決定に当たっては、原則として「価格評価点」及び「技術評価点」の合計が最も高い者を落札候補者としますが、下記の要件をいずれか 1 つでも満たす者は落札候補者としません。

- (1) 入札価格が、資料 1 「調達説明書」の「3 評価基準額」で示した評価基準額を超えている。
- (2) 技術評価点が 24 点以下である。
- (3) 技術評価点のうち、個別評価項目において 0 点がある。